

○邸

この仕事をいただいたとき、どうして私のところに依頼したのですかと尋ねました。というのは 30 代のご夫婦で相当な数の住宅会社、工務店をまわっていたと聞いていたからです。ご主人から『工事完成保証』に入っているのだから、必ず完成するでしょう。たくさん建築業者をまわりましたが、『工事完成保証』のことを言ったのは鈴木さんのところだけです。』とされました。

変形の土地のために、設計時に駐車スペースと庭を取り、家を建てる場所を決めました。この写真ではわかりませんが、西側にベランダが付いてあり、そこから祇園祭りの打ち上げ花火が見えます。外壁はポーチ部分だけブルーブラック、あとはシルバー色にしました。



ポーチ、アプローチ

奥様の希望で、玄関前に自転車置き場と雨の日にちょっと遊べる空間をという希望で 2 坪のポーチを造りました。

門からは、スロープでポーチに入れるように考えてあります。自転車も楽に入れることができます。



玄関

玄関ホールは桧の腰板、上着をかけられる収納を付けました。



ハンガー付収納

LDK

LDK は腰板をグルッとまわしました。

玄関からの入り口の戸はオリジナル

デザイン



ヒノキの腰板+ガラスと杉板の戸



個室

建てる時は娘さんが一人でした。男の子が生まれた時、別けられるようにL型の平面にし、中央は勉強部屋に両端は寝室に別けられるよう計画しました。あとから壁が作られるように2階梁、小屋梁を入れてあります。3つの照明が円盤のように浮いていますが、この下に部屋が三つ出来ます。

丸太などの小屋組を出してほしいと言う希望でしたが、ホコリが落ちてくるから天井は張ったほうが良いとアドバイスしました。小屋組丸太を半分出しています。



寝室

和室を希望でしたので、寝室はたたみ敷きにしましたが、パースのように手前に家具のスペースとして洋室を設けました。和室に2.7m、洋室に1.8メートルの押入れも付けてあります。



浴室、トイレ、洗面脱衣室

脱衣場の洗濯機の上に棚が欲しいと要望されましたが、ホコリが積もるからと説明し、廉価な吊戸棚を取り付けました。



模型

この模型は、構造を説明するため二つに別けられるように作りました。右の写真は二つに割った写真ですが、基礎→1階壁→2階壁と壁が一枚になっていることがわかります。こうしておくと、常には上部の重さを下に伝え、地震や台風などの横の力を分散させて受けることができます。



上の写真を見ると基礎の上に1階の壁、その上に2階の壁がのっている。